



# 朝風

平成 24 年度  
学校 10 月号②  
大 仙 市 立  
大 曲 南 中 学 校

後期最初の乾坤一筆

## 「仲間を大切にすること」

校長 黒田 清志

秋休みも終わり後期がスタートしました。春から鍛えてきた心と体を、今度はじっくり学習に向けて頑張らせたいと考えています。部活動や学校行事に取り組んできた、前期を「動」と例えるならば後期は「静」とし落ち着いた雰囲気の中で勉強に取り組ませたいと考えています。

さて、私は集会等で「つながりに学ぶ学校」の実現を目指し、他者とのかかわりが重要であること、人が人として生きていくうえで大切であることを話をしています。

「まさかのときの友は真の友」ということわざがあります。これは困ったときや悩んでいるときに自分を支えてくれるのが本当の友達であるということです。「学校生活は楽しいですか?」という質問に多くの生徒が楽しいと答えてくれます。その理由は仲間同士、おしゃべりをしたり、一緒にさまざまな活動をしたりするのが楽しいと述べています。

しかし、よく考えてみると本校の教育目標は5月に全校配布した学校要覧(ダイジェスト版)に記載していますように『自立・自学・共感』です。先生に頼らず、生徒集団の好ましくないことは生徒自ら注意し合い改善するということです。このことを考えると、今、生徒同士の人間関係について、例えば、人の心を顧みない行為に勇気をもって差し止める行動が取れているでしょうか。うわべだけのつきあい、その場だけの付き合いにはなっていないでしょうか。

形だけでなく「認め合い、高め合い、支え合い、教え合う」関係を築いていってほしいと思っています。易きに流れず、仲間が嫌がらせを働いたときに勇気をもってそれを止めさせられますか。また、それを指摘された側は私のことを真剣に心配してくれているんだと思えますか。他者への思いやりは自分が成長する糧にもなります。思うことは誰でもできます。実際、行動に移してみましよう。

今年度の南中祭もおかげさまをもちまして成功裡に終えることができました。皆様に感謝申し上げます。



「今年度は劇の人もウエイター・ウエイトレスを担当するなど、例年以上に生徒が頑張ったと思います。玉コンも売れたし・・・。」



(生徒会担当 戸澤)

## 南中祭へのご来校に感謝!

## 大曲仙北読書感想文コンクール

「青少年読書感想文全国コンクール」につながる大曲仙北読書感想文コンクールが今秋行われ、本校からは次の4名の作品が入賞しました。一席・二席の作品は県審査に出品されます。なお、「」内は、本のタイトルではなく、感想文の題名です。

- 1年課題図書 一席 粟津 さん  
「地球の声に耳をすませて」
- 2年課題図書 二席 佐々木さん  
「怪物が教えてくれたこと」
- 1年自由読書 三席 小場 さん  
「見方を変えて」
- 3年自由読書 三席 成田 さん  
「私の受検勉強をかえた一冊」